



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2019年8月9日

上場会社名 株式会社 アマダホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 6113 URL <https://www.amadaholdings.co.jp>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 磯部 任  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役財務部門長（氏名） 工藤 秀一（TEL）0463-96-1111  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（証券アナリスト、機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	64,870	△3.7	4,731	△21.6	4,986	△27.5	3,719	△24.3	3,655	△24.6
2019年3月期第1四半期	67,327	16.5	6,034	38.0	6,881	17.0	4,914	21.4	4,846	21.2

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期△2,029百万円（-） 2019年3月期第1四半期 4,356百万円（△37.5%）

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	10.25	10.25
2019年3月期第1四半期	13.25	13.25

## (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	566,331	434,334	430,524	76.0
2019年3月期	567,861	445,280	441,431	77.7

(注) 当第1四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2019年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定を反映しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	21.00	—	25.00	46.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	24.00	—	24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に帰属 する当期利益		基本的1株当たり当期 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	350,000	3.5	47,000	4.1	33,500	0.6	93.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当第1四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2019年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定を反映しております。これに伴い対前期増減率についても反映後の数値にて計算しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注) 詳細は、添付資料12ページ「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご参照ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期1Q	368,115,217株	2019年3月期	368,115,217株
2020年3月期1Q	11,504,073株	2019年3月期	11,503,611株
2020年3月期1Q	356,611,257株	2019年3月期1Q	365,808,855株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書	8
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	9
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報)	14
(企業結合)	15
3. 補足情報	17
受注及び販売の状況	17

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米中における通商問題の激化により景気の先行きに不透明感が強まりました。これにより米国・欧州において設備投資の一部に弱さが見られ、アジアでも中国経済の減速感が強まり、その影響は周辺国まで波及しました。また、我が国経済も設備投資の一部で慎重化が見られました。

このような経営環境のもと、当社グループでは2021年度を最終年度とする中期経営計画「Task321」を策定しており、その達成に向けて邁進しております。この「Task321」の実現に向けて、積極的な戦略投資を実施し、販売ネットワークの拡大や新たなビジネスモデルの確立による成長戦略の実行、開発・製造一体となったモノづくり改革の推進やIoTを活用したサプライチェーン・マネジメント（SCM）構築による、さらなる収益性と効率性の向上を目指しております。併せてバランスシート改革による資本生産性の向上にも取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、受注高67,320百万円（前年同期比6.2%減）、売上収益64,870百万円（前年同期比3.7%減）となりました。国内での売上収益は25,688百万円（前年同期比13.3%増）、海外での売上収益は39,181百万円（前年同期比12.2%減）となりました。

損益面につきましては、営業利益は4,731百万円（前年同期比21.6%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は3,655百万円（前年同期比24.6%減）となりました。

なお、当社は、当第1四半期連結会計期間において企業結合に係る暫定的な会計処理を確定し、暫定的に測定された公正価値の修正を行ったため、前連結会計年度の財務数値を修正しております。これに伴い、遡及修正後の数値で前期比較を行っております。

事業別の概況につきましては、以下のとおりです。

#### ① 金属加工機械事業

金属加工機械事業におきましては、受注高は51,789百万円（前年同期比10.7%減）、売上収益は50,348百万円（前年同期比9.8%減）、営業利益は3,018百万円（前年同期比31.8%減）となりました。板金部門では、国内においては戦略商品であるENSISシリーズをはじめとするファイバーレーザーマシンの販売が好調に推移しましたが、海外においては米中における通商問題の激化により設備投資に鈍化が見られたことで、売上収益は43,750百万円（前年同期比9.4%減）となりました。微細溶接部門では、国内外でレーザー溶接機の販売は好調に推移しましたが、全体的に抵抗溶接機の販売に弱さが見られたことに加え、前年の業績に貢献したスマートフォン等のモバイル機器向けの大型案件の反動減などにより、売上収益は6,596百万円（前年同期比12.8%減）となりました。

#### ② 金属工作機械事業

金属工作機械事業におきましては、受注高は15,244百万円（前年同期比13.1%増）、売上収益は14,235百万円（前年同期比27.2%増）、営業利益は1,523百万円（前年同期比2.9%増）といずれも前年同期に比べ増加しました。切削部門では、前連結会計年度に子会社化した米国の切削機械メーカーであるアマダマーベル社の業績が貢献し、増収となりました。プレス部門では、前連結会計年度に子会社化したプレス加工の自動化装置メーカーであるアマダオリイ社の寄与と共に、同社と一体となって行った複数のプレス機を自動搬送装置を用いて連結するタンデム運用提案が奏功しました。また研削盤部門においても国内において平面研削盤や成型研削盤の販売が堅調に推移しました。

## (事業別売上収益、営業利益の状況)

事業別	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
金属加工機械事業					
売上収益	55,836	82.9	50,348	77.6	△9.8
(板金部門)	(48,270)	(71.7)	(43,750)	(67.4)	(△9.4)
(微細溶接部門)	(7,564)	(11.2)	(6,596)	(10.2)	(△12.8)
(調整額)	(2)	—	(0)	—	—
営業利益	4,425	—	3,018	—	△31.8
金属工作機械事業					
売上収益	11,191	16.6	14,235	21.9	27.2
(切削部門)	(7,781)	(11.5)	(8,398)	(12.9)	(7.9)
(プレス部門)	(1,945)	(2.9)	(4,179)	(6.4)	(114.8)
(研削盤部門)	(1,462)	(2.2)	(1,656)	(2.6)	(13.3)
(調整額)	(2)	—	(1)	—	—
営業利益	1,480	—	1,523	—	2.9
その他(注)					
売上収益	304	0.5	288	0.5	△5.2
営業利益	128	—	189	—	47.0
調整額					
売上収益	△4	—	△2	—	—
営業利益	—	—	—	—	—
合計(連結)					
売上収益	67,327	100.0	64,870	100.0	△3.7
営業利益	6,034	—	4,731	—	△21.6

(注) その他は、遊休地の有効利用を目的としたショッピングセンター等の不動産賃貸事業等です。

## ③ 地域別の状況

主要地域の状況は以下のとおりです。

日 本：国内では、板金部門においてファイバーレーザーマシンの新商品の販売が好調だったことに加え、切削部門において、建築関連向けの販売が好調に推移しました。また、前連結会計年度に連結子会社化したアマダオリイ社の業績も寄与したことで、売上収益は25,688百万円（前年同期比13.3%増）となりました。

北 米：米国では、通商政策の不透明感等からこれまで高水準で推移していた設備投資の慎重化が見られたことで、前連結会計年度に好調であった建築関連向けの販売が減少しました。カナダでは、電化製品や通信機器などの精密関連向けの販売が好調に推移したものの、売上収益は15,379百万円（前年同期比4.3%減）となりました。

欧 州：欧州では、EU域内での製造業の景況感の悪化を受け、ドイツやフランスなどの主要国において販売が低調に推移したことに加え、ユーロ安も影響しました。英国では、配電盤・制御盤や農機具等の一般機械関連向けの販売が拡大したものの、売上収益は12,846百万円（前年同期比12.6%減）となりました。

アジア他：中国では、米国との通商問題により設備投資需要の鈍化が見られ販売が減少し、これにより台湾や韓国などの周辺国においても影響が見られ、低調に推移しました。またインドにおいても政治的要因から鉄道等のインフラ投資の意欲が一時減退したことで、売上収益は10,955百万円（前年同期比21.0%減）となりました。

## (地域別売上収益の状況)

地 域	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
日 本	22,676	33.7	25,688	39.6	13.3
海 外	44,651	66.3	39,181	60.4	△12.2
(北米)	(16,075)	(23.9)	(15,379)	(23.7)	(△4.3)
(欧州)	(14,699)	(21.8)	(12,846)	(19.8)	(△12.6)
(アジア他)	(13,875)	(20.6)	(10,955)	(16.9)	(△21.0)
合 計	67,327	100.0	64,870	100.0	△3.7

(注) 本表の地域別売上収益は、顧客の所在地別の売上収益であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,530百万円減少し、566,331百万円となりました。流動資産は営業債権及びその他の債権などの減少により12,448百万円減少し、314,715百万円となりました。一方で非流動資産は有形固定資産の増加などにより10,917百万円増加し、251,615百万円となりました。

負債はその他の金融負債などの増加により前連結会計年度末に比べ9,415百万円増加し131,996百万円となりました。また資本は10,945百万円減少の434,334百万円となり、これらの結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の77.7%から76.0%となりました。

連結キャッシュ・フローにつきましては、現金及び現金同等物の当第1四半期連結累計期間末残高は、前第1四半期連結累計期間末に比べ14,978百万円減の51,651百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動の結果、獲得した資金は3,361百万円であり、前第1四半期連結累計期間末と比較し3,205百万円減少しました。これは主に棚卸資産の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動の結果、支出した資金は2,068百万円であり、前第1四半期連結累計期間末と比較し12,862百万円支出額が減少しました。その主な要因は、定期預金の純増減額の増加によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動の結果、支出した資金は4,971百万円であり、前第1四半期連結累計期間末より74百万円支出額が減少しました。その主な要因は、短期借入れの返済による支出の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点では2019年5月14日に公表した予想値に変更はありません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2019年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	56,295	51,651
営業債権及びその他の債権	140,965	123,526
棚卸資産	100,391	113,330
その他の金融資産	19,939	15,889
その他の流動資産	9,571	10,317
流動資産合計	327,164	314,715
非流動資産		
有形固定資産	130,914	142,756
のれん	4,811	4,710
無形資産	14,623	14,491
持分法で会計処理されている 投資	1,638	1,785
その他の金融資産	65,734	63,813
繰延税金資産	13,953	14,729
その他の非流動資産	9,021	9,327
非流動資産合計	240,697	251,615
資産合計	567,861	566,331



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2019年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	65,917	64,528
借入金	5,366	9,719
未払法人所得税	7,918	3,151
その他の金融負債	931	5,616
引当金	1,900	1,825
その他の流動負債	23,961	23,105
流動負債合計	105,997	107,946
非流動負債		
借入金	4,556	4,415
その他の金融負債	2,907	10,645
退職給付に係る負債	2,855	2,813
引当金	6	6
繰延税金負債	2,198	2,318
その他の非流動負債	4,060	3,850
非流動負債合計	16,584	24,050
負債合計	122,581	131,996
資本		
資本金	54,768	54,768
資本剰余金	153,119	153,119
利益剰余金	243,596	238,337
自己株式	△11,608	△11,608
その他の資本の構成要素	1,555	△4,091
親会社の所有者に帰属する 持分合計	441,431	430,524
非支配持分	3,848	3,809
資本合計	445,280	434,334
負債及び資本合計	567,861	566,331

## (2) 要約四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上収益	67,327	64,870
売上原価	△37,849	△36,143
売上総利益	29,478	28,726
販売費及び一般管理費	△23,614	△24,472
その他の収益	562	688
その他の費用	△392	△211
営業利益	6,034	4,731
金融収益	970	892
金融費用	△239	△817
持分法による投資利益	115	180
税引前四半期利益	6,881	4,986
法人所得税費用	△1,966	△1,266
四半期利益	4,914	3,719
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	4,846	3,655
非支配持分	68	63
四半期利益	4,914	3,719
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	13.25	10.25
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	13.25	10.25

## (3) 要約四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期利益	4,914	3,719
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融資産	△56	△525
項目合計	△56	△525
純損益にその後に振り替えられる可能性の ある項目		
在外営業活動体の換算差額	△464	△5,220
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する負債性金融資産	△13	13
持分法によるその他の包括利益	△23	△15
項目合計	△501	△5,223
その他の包括利益合計	△558	△5,748
四半期包括利益	4,356	△2,029
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	4,307	△1,991
非支配持分	49	△38
四半期包括利益	4,356	△2,029

## (4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分									非支配持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素				合計		
					その他の 包括利益 を通じて 公正価値 で測定 する金融 資産	在外営業 活動体の 換算差額	持分法に よるその 他の包括 利益	合計			
2018年4月1日残高	54,768	163,217	224,850	△11,695	529	2,351	70	2,950	434,091	3,615	437,707
四半期利益	—	—	4,846	—	—	—	—	—	4,846	68	4,914
その他の包括利益	—	—	—	—	△70	△445	△23	△539	△539	△19	△558
四半期包括利益	—	—	4,846	—	△70	△445	△23	△539	4,307	49	4,356
配当金	—	—	△8,047	—	—	—	—	—	△8,047	△0	△8,048
自己株式の取得	—	—	—	△1	—	—	—	—	△1	—	△1
自己株式の処分(ストック・オプションの行使による処分を含む)	—	0	—	0	—	—	—	—	0	—	0
所有者との取引額等合計	—	0	△8,047	△1	—	—	—	—	△8,048	△0	△8,049
2018年6月30日残高	54,768	163,217	221,649	△11,696	458	1,905	47	2,411	430,350	3,664	434,014

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分									非支配持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素				合計		
					その他の 包括利益 を通じて 公正価値 で測定 する金融 資産	在外営業 活動体の 換算差額	持分法に よるその 他の包括 利益	合計			
2019年4月1日残高	54,768	153,119	243,596	△11,608	651	888	15	1,555	441,431	3,848	445,280
四半期利益	—	—	3,655	—	—	—	—	—	3,655	63	3,719
その他の包括利益	—	—	—	—	△511	△5,118	△15	△5,646	△5,646	△102	△5,748
四半期包括利益	—	—	3,655	—	△511	△5,118	△15	△5,646	△1,991	△38	△2,029
配当金	—	—	△8,915	—	—	—	—	—	△8,915	△0	△8,916
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	—	—	—	△0	—	△0
自己株式の処分(ストック・オプションの行使による処分を含む)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	—	△8,915	△0	—	—	—	—	△8,915	△0	△8,916
2019年6月30日残高	54,768	153,119	238,337	△11,608	139	△4,230	△0	△4,091	430,524	3,809	434,334

## (5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	6,881	4,986
減価償却費及び償却費	2,961	3,994
金融収益及び金融費用	△731	△809
持分法による投資利益	△115	△180
固定資産除売却損益	139	20
棚卸資産の増減	△9,221	△14,497
営業債権及びその他の債権の増減	15,088	15,456
営業債務及びその他の債務の増減	△8	△1,080
退職給付に係る負債の増減	△252	△312
引当金の増減	△1	△42
その他	△1,722	3,895
小計	13,017	11,429
利息の受取額	281	236
配当金の受取額	71	77
利息の支払額	△27	△23
法人所得税の支払額	△6,775	△8,358
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,567	3,361
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額	△5,394	4,103
有価証券の取得による支出	△1,000	—
有価証券の売却及び償還による収入	1,600	500
投資有価証券の取得による支出	△4,303	△1,454
投資有価証券の売却及び償還による収入	7	2,167
有形固定資産の取得による支出	△4,470	△6,321
有形固定資産の売却による収入	214	103
無形資産の取得による支出	△1,037	△1,182
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△742	—
その他	194	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,931	△2,068
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,801	28
短期借入れの返済による支出	△2,037	△13
短期借入金の純増減額	3,315	4,571
長期借入れによる収入	30	—
長期借入れの返済による支出	△69	△14
リース負債の返済による支出	△34	△623
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△8,050	△8,919
非支配持分への配当金の支払額	△0	△0
その他	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,046	△4,971
現金及び現金同等物に係る換算差額	△424	△964
現金及び現金同等物の増減額	△13,834	△4,643
現金及び現金同等物の期首残高	80,464	56,295
現金及び現金同等物の四半期末残高	66,630	51,651

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第1四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積平均年次実効税率を用いて算定しております。

当社グループは、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。

(1) 借手としてのリース

リース取引におけるリース負債は、リース開始日におけるリース料総額の未決済分の割引現在価値として測定を行っております。使用権資産については、リース負債の当初測定額に当初直接コスト、前払リース料等を調整した額で当初の測定を行っております。使用権資産は、リース期間にわたり規則的に、減価償却を行っております。

リース料は、リース負債残高に対して一定の利率となるように、金融費用とリース負債残高の返済部分とに配分しております。金融費用は連結損益計算書上、使用権資産に係る減価償却費と区分して表示しております。

契約がリースであるか否か、又は契約にリースが含まれているか否かについては、法的にはリースの形態をとらないものであっても、契約の実質に基づき判断しております。なお、リース期間が12ヶ月以内に終了するリース及び原資産が少額であるリースについて、当該リースに関連したリース料を、リース期間にわたり定額法により費用として認識しております。

IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている累積的影響を適用開始日(2019年4月1日)に認識する方法を採用しております。IFRS第16号への移行に際し、契約にリースが含まれているか否かについては、IFRS第16号C3項の実務上の便法を選択し、従前のIAS第17号「リース」及びIFRIC第4号「契約にリースが含まれているか否かの判断」のもとでの判断を引き継ぐとともに、以下に掲げるIFRS第16号C10項の実務上の便法を使用しております。

- ・ 特性が合理的に類似したリースのポートフォリオに単一の割引率を適用
- ・ 減損レビューを実施することの代替として、リースが適用開始日直前においてIAS第37号「引当金、偶発負債及び偶発資産」を適用して不利であるかどうかの評価に依拠
- ・ 適用開始日から12か月以内にリース期間が終了するリースについて、短期リースと同じ方法で会計処理
- ・ 当初直接コストを適用開始日現在の使用権資産の測定から除外
- ・ 延長又は解約オプションが含まれている契約について、リース期間を算定する際などに、事後的判断を使用

IFRS第16号への移行により、適用開始日において、使用権資産9,895百万円（要約四半期連結財政状態計算書上は有形固定資産に含めて表示）、リース負債(流動)2,354百万円（要約四半期連結財政状態計算書上は流動負債のその他の金融負債に含めて表示）、リース負債(非流動)7,932百万円（要約四半期連結財政状態計算書上は非流動負債のその他の金融負債に含めて表示）を追加認識しております。適用開始日に認識したリース負債に適用している借手の追加借入利率の加重平均は0.7%です。

前連結会計年度末(2019年3月31日)における解約不能のオペレーティング・リース契約について適用開始日現在の追加借入利率で割引いた額と適用開始日に認識したリース負債の額との間の調整は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)	
解約不能のオペレーティング・リースに基づく将来の最低支払リース料総額（2019年3月31日） （追加借入利率で割引後）	758
ファイナンス・リース債務（2019年3月31日）	248
解約可能オペレーティング・リース契約等（主として営業所の不動産賃貸借契約等）	9,528
適用開始日におけるリース負債	10,536

## (2)貸手としてのリース

当社グループが貸手となるリースについては、従前のIAS第17号における貸手の会計処理と実質的に同じであります。

## (セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

(単位:百万円)

	金属加工 機械	金属工作 機械	その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸 表計上額
売上収益						
外部顧客からの売上収益	55,834	11,189	304	67,327	—	67,327
セグメント間の売上収益	2	2	—	4	△4	—
合計	55,836	11,191	304	67,332	△4	67,327
セグメント利益	4,425	1,480	128	6,034	—	6,034
金融収益						970
金融費用						△239
持分法による投資利益						115
税引前四半期利益						6,881

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	金属加工 機械	金属工作 機械	その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸 表計上額
売上収益						
外部顧客からの売上収益	50,347	14,234	288	64,870	—	64,870
セグメント間の売上収益	0	1	—	2	△2	—
合計	50,348	14,235	288	64,872	△2	64,870
セグメント利益	3,018	1,523	189	4,731	—	4,731
金融収益						892
金融費用						△817
持分法による投資利益						180
税引前四半期利益						4,986

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、営業利益と調整を行っております。



## (企業結合)

(企業結合に係る暫定的な会計処理の確定)

オリイメック株式会社の取得による企業結合

当社は、株式会社名村造船所（以下「名村造船所」）と締結した株式譲渡契約に基づき、2018年10月1日付で名村造船所の子会社であるオリイメック株式会社（以下「オリイメック」）の全株式を取得し、子会社化いたしました。

前連結会計年度においては、取得原価の配分が完了していなかったことから、取得資産及び引受負債の公正価値は暫定的な金額となっておりますが、当第1四半期連結会計期間に確定し、暫定的な金額を下記表のとおり修正しております。なお、企業結合当初の会計処理が完了したことに伴い、連結財政状態計算書の前連結会計年度を遡及修正しております。その結果、遡及修正を行う前と比べ、主として前連結会計年度の無形資産が3,409百万円、繰延税金負債が927百万円増加し、のれんが2,658百万円減少しております。また、要約四半期連結財政状態計算書(前連結会計年度末数値)及び要約四半期連結持分変動計算書(当第1四半期連結累計期間の期首残高)は、当該影響を反映した後の金額であります。

## (1) 企業結合日における取得資産及び引受負債の公正価値

(単位：百万円)

項目	暫定的な金額	その後の修正	修正後の金額
取得資産及び引受負債の公正価値(注) 1			
流動資産			
現金及び現金同等物	3,813	-	3,813
営業債権及びその他の債権(注) 2	2,765	-	2,765
棚卸資産	2,916	-	2,916
その他	131	-	131
非流動資産			
有形固定資産	2,008	319	2,327
無形資産(注) 3	1	3,580	3,581
その他	655	△260	395
資産合計	12,292	3,639	15,931
流動負債			
営業債務及びその他の債務	2,433	-	2,433
借入金	58	-	58
未払法人所得税	208	-	208
その他	1,586	-	1,586
非流動負債			
退職給付に係る負債	602	-	602
その他	63	981	1,045
負債合計	4,954	981	5,935
取得資産及び引受負債の公正価値(純額)	7,338	2,658	9,996

(注) 1. 当第1四半期連結会計期間において、公正価値評価の完了に伴い、取得原価の配分が完了しております。

2. 取得した流動資産に含まれる「営業債権及びその他の債権」の公正価値2,765百万円において、契約上の未収金額の総額は2,765百万円であり、回収が見込まれない契約上のキャッシュ・フローは0百万円であります。

3. 無形資産は、償却対象無形資産であり、主に見積耐用年数15年の顧客関連資産1,886百万円及び、見積耐用年数15年の商標権948百万円が含まれております。

## (2) 取得により生じたのれん

(単位：百万円)			
項目	暫定的な金額	その後の修正	修正後の金額
支払対価	12,736	-	12,736
取得資産及び引受負債の公正価値（純額）	7,338	2,658	9,996
非支配持分(注) 1	77	-	77
のれん(注) 2	5,475	△2,658	2,817

(注) 1. 非支配持分はオリイメックの子会社に関連するもので、取得日の純資産に非支配持分比率を乗じて測定しております。

2. のれんに関しては、主に、取得から生じることが期待される既存事業とのシナジー効果を含めた超過収益力の合理的な見積りにより発生するものであります。

当第1四半期連結会計期間において、公正価値評価の完了に伴い、主なのれんとは区別して認識される無形資産に支払対価が配分され、のれんの金額が確定しております。なお、当該のれんのうち、税務上損金算入が見込まれるものではありません。

## 3. 補足情報

## 受注及び販売の状況

## 1. 受注状況

部門別	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)				当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)			
	受注高		受注残高		受注高		受注残高	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
板金部門	49,377	68.8	61,749	76.2	44,195	65.6	57,413	68.9
微細溶接部門	8,599	12.0	6,641	8.2	7,593	11.3	9,784	11.7
切削部門	9,031	12.6	5,760	7.1	9,161	13.6	5,720	6.9
プレス部門	2,418	3.4	3,294	4.1	4,709	7.0	7,586	9.1
研削盤部門	2,027	2.8	3,585	4.4	1,373	2.1	2,832	3.4
その他	300	0.4	—	—	286	0.4	—	—
合計	71,754	100.0	81,031	100.0	67,320	100.0	83,337	100.0

## 2. 販売実績

部門別	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
板金部門	48,270	71.7	43,750	67.4
微細溶接部門	7,564	11.2	6,596	10.2
切削部門	7,781	11.5	8,398	12.9
プレス部門	1,945	2.9	4,179	6.4
研削盤部門	1,462	2.2	1,656	2.6
その他	304	0.5	288	0.5
合計	67,327	100.0	64,870	100.0